



学校だより3月号 つなぐ



階段を昇る

～ 新しい取組に向けた準備をする ～

日が長くなりました。三寒四温という言葉があるように春は暖かさと寒さを繰り返しながら迎えるものです。またアレルギーを持っている方はこの時期は本当につらいと思いますが、ここを乗り越えると本格的な春の訪れとなります。健康面に留意しながら過ごしていきましょう。

ところで、本日、高校は卒業証書授与式を実施しました。また中学校は14日（土）に実施します。そこで卒業生に問います。高校生や中学生の皆さんは何から卒業したということ意識しているでしょうか？人生の中には七五三のお祝いのような人生の区切りの時期というものがありますが、18歳そして15歳は、まさに一つの区切り＝人生の節目の時期にあたります。そこで節目について考えて欲しいと思います。私は始業式や終業式などで生徒の皆さんにお話しをする機会がございますが、内容はどのようなことであったとしても、実は成長と節目というものを意識した話をするようにしています。つまり「ジリツ」であり、「自律」と「自立」という言葉になります。ここで私は精神論を唱えるつもりはございませんが、発達段階の中で中学生から高校生の時期とは、子どもから大人になる時期であるため、どのような責任が生ずるのか考え、意識した行動ができるようになることが大切になります。昨今は権利を主張することが強く、義務があることを忘れてしまいがちです。特に高校を卒業する皆さんは、これから成人として社会の一員となります。一つひとつの行動の意味を考え、物事に挑戦して欲しいと思います。中学生を卒業する皆さんは引き続き、本校で次のステップに上がりません。学びもより一層深くなります。更なる世界の広がりや飛躍を信じて勉強を継続しましょう。

3月はお別れの季節であり、次のステージに上がるための準備の時期になります。在校生の皆さんはその前に大切な1年のまとめとなる試験があります。まずは試験にしっかり準備をして臨みましょう。この1年の振り返りをした上で、新たな取り組みが始まる4月に備えることとなります。そう階段を昇るために必要な作業を行います。中でも高校3年生の4月は忙しい。例えば、運動部のインターハイです。全国大会は7月末から8月にかけて行われますが、地区予選は4月から始まります。あと1年あるから、あと2年あるからと思っていると時はあっという間に過ぎるのです。悔いのないようにするためにも今なすべきことは何なのかを見極め、新たな目標を作りましょう。3月は良い意味でも悪い意味でも時が止まる時です。立ち止まって考えることは重要なことです。階段を昇り、次のステージに上がるための準備期間であると思い、良い時間の過ごし方をしましょう。

最後になりますが、令和7年度も終わろうとしています。世の中を見ると、私が考えている以上の速さで社会の変化が進んでいます。学校も例外なく社会課題と向き合う中でこれからの社会の担い手となる人材を育成するための教育が推進されなければいけません。大前提として「安心・安全・安定」が求められますが、今後も日本大学のスケールメリットを活かし、自らの力で道をひらき、希望をかなえる生徒を育成してまいります。引き続き、本校の教育活動に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。1年間、ありがとうございました。